窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足する船舶における船級符号の付記に関する事項

改正規則等

海洋汚染防止のための構造及び設備規則
登録規則細則
(日本籍船舶用及び外国籍船舶用)

改正理由

MARPOL 条約では、附属書 VI 第 13 規則において、ディーゼル機関からの窒素酸化物放出量最大許容限度に関する要件を規定しており、本会は、当該要件を海洋汚染防止のための構造及び設備規則に規定している。

さらに、当該要件のうち 3 次規制を満足する機関を備える船舶には、船級符号に “Nitrogen Oxides Emission-Tier III” (略称：NOx-III) を付記する旨、海洋汚染防止のための構造及び設備規則並びに登録規則細則に規定している。また、同付記の後の括弧内には、当該規制を満足するために搭載される装置又は機関に応じて、次に掲げる 4 つの中から該当する付記を列挙することとしている。

- “Selective Catalytic Reduction” (略号：SCR)
- “Exhaust Gas Recirculation” (略号：EGR)
- “Dual Fuel Engine” (略号：DFE)
- “Gas-only Engine” (略号：GOE)

今般、新たな技術の開発が進み、上記のいずれにも該当しない水添加技術等を用いた機関の承認申込が寄せられているため、当該申込に対応すべく関連規定を改める。

改正内容

SCR, EGR, DFE 及び GOE 以外の技術を用いて窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足する機関を備えた船舶の船級符号について、“Nitrogen Oxides Emission-Tier III”の後の括弧内に “Other Technologies” (略号：Others) を付記する旨規定する。

「海洋汚染防止のための構造及び設備規則」の一部を次のように改正する。

1 編 総則

1 章 通則

1.1 一般

(日本籍船舶用)

1.1.3 船級符号への付記

-2.を次のように改める。

-2. 登録規則 2.1.3-2.に基づいて、8 編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するディーゼル機関を備え、窒素酸化物放出規制海域における航行が可能な船舶に対し、「Nitrogen Oxides Emission-TierIII」(略号: NO_x-III)を船級符号に付記する。なお、8 編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するため、選択式触媒還元脱硝装置、排ガス再循環装置、二元燃料機関又は、ガス専焼機関又はこれら以外の技術を使用する船舶に対しては、搭載される装置、機関又は技術に応じて、当該付記の後の括弧内に次の付記を列挙する。また、(1)及び又は(2)の装置を備える機関並びに(3)及び、(4)の機関又は(5)に該当する機関の用途 (なお、(5)に該当する機関にあつては、使用される技術を含む。)については、船級登録原簿に注記として記載する。

- (1) 鋼船規則 D 編 21 章の適用を受けた選択式触媒還元脱硝装置を使用するもの：
Selective Catalytic Reduction (略号: SCR)
- (2) 鋼船規則 D 編 23 章の適用を受けた排ガス再循環装置を使用するもの：
Exhaust Gas Recirculation (略号: EGR)
- (3) 鋼船規則 N 編 16.1 及び 16.7 又は鋼船規則 GF 編 1.1.3-1.(20)の適用を受けた二元燃料機関を使用するもの：
Dual Fuel Engine (略号: DFE)
- (4) 鋼船規則 GF 編 1.1.3-1.(20)の適用を受けたガス専焼機関を使用するもの：
Gas-only Engine (略号: GOE)
- (5) 前(1)から(4)以外の技術を使用するもの：
Other Technologies (略号: Others)

(外国籍船舶用)

1.1.4 船級符号への付記

-2.を次のように改める。

-2. 登録規則 2.1.3-2.に基づいて、8 編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するディーゼル機関を備え、窒素酸化物放出規制海域における航行が可

能な船舶に対し、「Nitrogen Oxides Emission-Tier III」(略号：NOx-III)を船級符号に付記する。なお、8編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するため、選択式触媒還元脱硝装置、排ガス再循環装置、二元燃料機関又は、ガス専焼機関又はこれら以外の技術を使用する船舶に対しては、搭載される装置、機関又は技術に応じて、当該付記の後の括弧内に次の付記を列挙する。また、(1)及び又は(2)の装置を備える機関並びに(3)及び、(4)の機関又は(5)に該当する機関の用途 ((5)に該当する機関にあっては、使用される技術を含む。)については、船級登録原簿に注記として記載する。

- (1) 鋼船規則 D 編 1.3.1-10.(1)又は高速船規則 9 編 1.2.1-11.(1)の適用を受けた選択式触媒還元脱硝装置を使用するもの：
Selective Catalytic Reduction (略号：SCR)
- (2) 鋼船規則 D 編 2.1.1-5.又は高速船規則 9 編 2.1.1-4.の適用を受けた排ガス再循環装置を使用するもの：
Exhaust Gas Recirculation (略号：EGR)
- (3) 鋼船規則 N 編 16.1 及び 16.7 又は鋼船規則 GF 編 1.1.3-1.(20)の適用を受けた二元燃料機関を使用するもの：
Dual Fuel Engine (略号：DFE)
- (4) 鋼船規則 GF 編 1.1.3-1.(20)の適用を受けたガス専焼機関を使用するもの：
Gas-only Engine (略号：GOE)
- (5) 前(1)から(4)以外の技術を使用するもの：
Other Technologies (略号：Others)

「登録規則細則」の一部を次のように改正する。

2章 船級登録

2.1 船級の登録

2.1.3 船級符号への付記

-3.を次のように改める。

-3. 規則 2.1.3-2.の付記は、次の(1)及び(2)に従って行う。

((1)は省略)

(2) 次の(a)及び(b)に掲げる付記は、海洋汚染防止のための構造及び設備規則 8 編 1.1.3 に従って、次に掲げる船舶について行う。

(a) 船舶の窒素酸化物放出抑制対策として海洋汚染防止のための構造及び設備規則 8 編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するディーゼル機関を備え、窒素酸化物放出規制海域における航行が可能な船舶：
「Nitrogen Oxides Emission-Tier III」(略号：NOx-III)

なお、同規則 8 編 2.1.2-1.(1)(c)に規定する窒素酸化物放出量最大許容限度基準を満足するため、選択式触媒還元脱硝装置、排ガス再循環装置、二元燃料機関又は、ガス専焼機関又はこれら以外の技術を使用する船舶に対しては、搭載される装置、機関又は技術に応じて、当該付記の後の括弧内に次の付記を列挙する。また、i)及び又はii)の装置を備える機関並びにiii)及び、iv)の機関又はv)に該当する機関の用途(なお、v)に該当する機関にあつては、使用される技術を含む。)については、船級登録原簿に注記として記載する。

i) 選択式触媒還元脱硝装置を使用するもの：

Selective Catalytic Reduction (略号：SCR)

ii) 排ガス再循環装置を使用するもの：

Exhaust Gas Recirculation (略号：EGR)

iii) 二元燃料機関を使用するもの：

Dual Fuel Engine (略号：DFE)

iv) ガス専焼機関を使用するもの：

Gas-only Engine (略号：GOE)

v) 前 i)から iv)以外の技術を使用するもの：

Other Technologies (略号：Others)

((b)は省略)